



東京胃がん検診追跡調査に

ご協力いただき皆さまへ

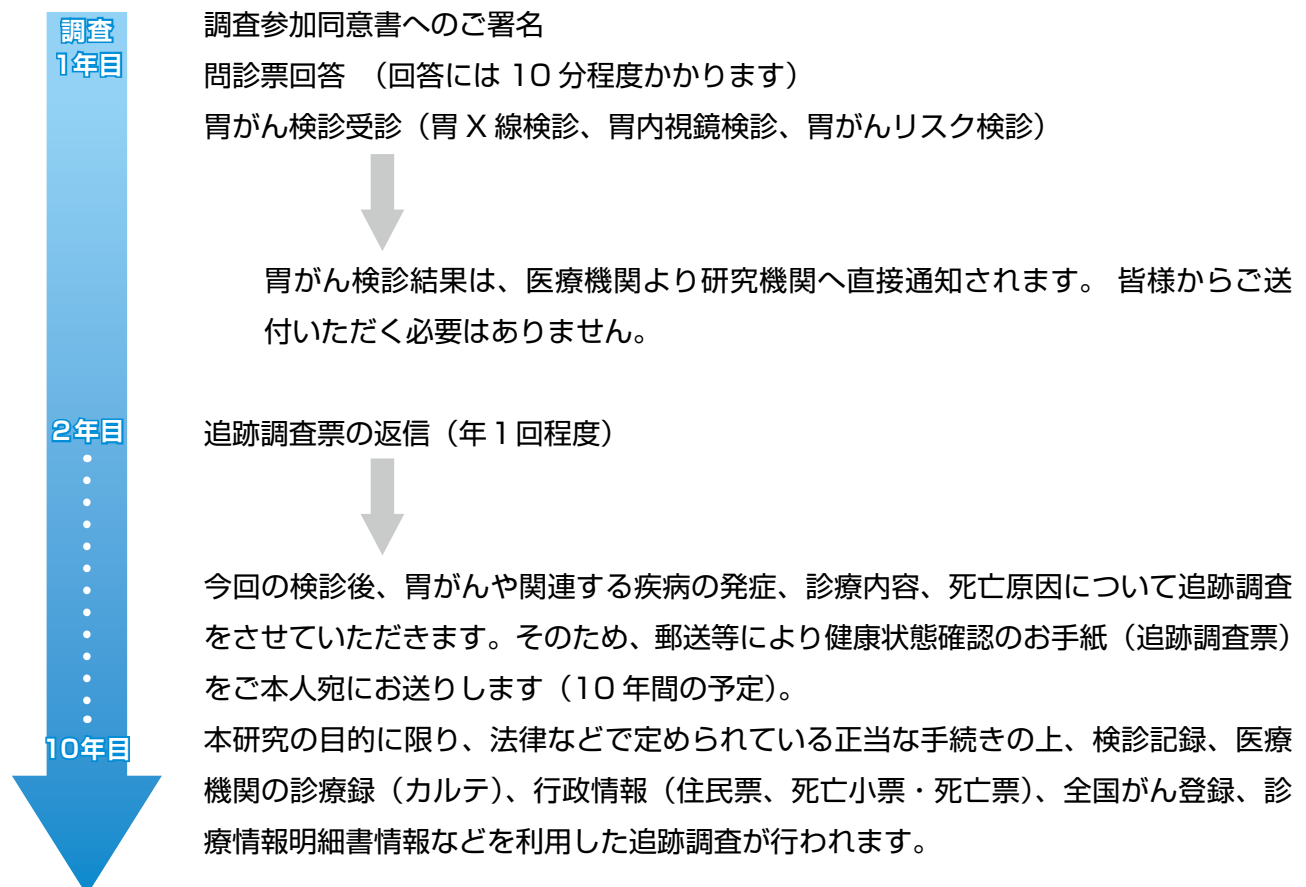
このたび、国立がん研究センターが東京都医師会・東京都地区医師会、都内区市町村と共同して「東京胃がん検診追跡調査」を実施することになりました。

この調査は、胃がん検診を受けられる東京都内にお住まいの方を対象として実施されます。胃がん検診は、胃X線検診、胃内視鏡検診、及び胃がんリスク検診のいずれかで実施されていますが、いずれの場合にもご協力をお願いしています。本調査についてご説明いたしますので、調査の趣旨をご理解の上、是非ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

1. 調査の目的

胃がんは、わが国において死亡率、罹患率ともに上位を占める疾患ですが、胃がんの90%以上が、ヘリコバクター・ピロリ感染に起因するものであることが明らかになっています。近年、ペプシノゲン法検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査の併用による「胃がんリスク検診（いわゆるABC検診）」は胃がんのリスク判定を目的として実施されるようになりました。しかし、この検診については、長期間にわたる死亡率減少効果が未知なため、最新の胃がん検診ガイドラインでも公共の実施する検診としては推奨されていません。この調査は、受検者の方を長期間追跡することにより「胃がんリスク検診」の死亡率減少効果を検証するものです。

2. 調査の概要



3. 同意の自由と撤回の自由

本調査への協力は自由です。調査参加に関する説明を受けて、同意していただいた方を対象に調査を行います。ご協力いただかなくとも、不利益になることはありません。胃がん検診は、調査への参加に関わらず、受けることができます。また、いつでも同意を撤回することができます。ただし、匿名化されてしまったデータと、それを使って解析・論文化されているデータについては抹消することができません。

4. 研究に参加することによる利益不利益

本調査は、最終的に胃がんリスク検診の死亡率減少効果を科学的に明らかにすることにより、わが国のがん検診施策に役立つことが期待されます。調査資料については、あくまで集団として解析を行い、研究結果が学術誌・学会・ニュースレター等にて公表された場合も個人が特定される恐れがなく、不利益を受けることはありません。

5. 個人情報の保護

本調査の目的に限り、法律や倫理指針などで定められている正当な手続きの上、行政情報（住民票、死亡票・死亡小票）、医療機関の診療録（カルテ）の情報、診療報酬明細書情報、全国がん登録との照会、閲覧、複写、及び借用をいたします。本調査により得られた情報を、調査以外の目的で使用することはありません。また、これらの情報は所轄の医療機関や行政機関から収集されるため、皆さまにお問い合わせすることはありません。

6. 調査資料の保管・解析について

この調査のためにご提供いただいた調査資料は、研究事務局が設置されている国立がん研究センターにおいて厳重に保管されます。また適切な審査を受けた上で、同じ目的の研究と合わせて解析される場合があります。この場合は個人が特定されないよう匿名化した情報を使用します。※研究期間終了後に破棄します。

7. この調査について

この調査実施にあたっては、厚生労働省や日本医療研究開発機構などの公的研究費が用いられます。各自治体・地区医師会が行う胃がん検診で検診受診費が一部自己負担となる場合、また追加で精密検査が必要な場合は通常の検診費用がかかりますが、本調査への参加費用はかかりません（謝金等の支払いはありません）。本調査は、国立がんセンター研究倫理審査委員会の承認を得て行われており、開示すべき利益相反関係はありません。

本調査について、ご不明な点やご心配な点がある場合には、本調査の事務局までお問い合わせください。

東京胃がん検診追跡調査

研究事務局

国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究グループ
(〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1)

研究代表者：井上 真奈美

お問い合わせ先

国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究グループ内
東京胃がん検診追跡調査

電話 03-3547-5201(内線 3349)

電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:30～12:00, 13:00～15:00

メールアドレス shippei@tokyo.med.or.jp

ホームページ <http://epi.ncc.go.jp/tokyoigan/index.html>

